

国際ロータリー第2660地区  
ガバナー

## 大谷 透



三月は識字率向上月間です。識字率向上のためのプロジェクトは1986年、国際ロータリーの長期計画の中に強調事項として揚げられて以来20年を超え、各所で成果が認められますが、これこそ「九牛一毛」を肝に銘じる必要があります。

地域の識字率は、その地域の生活水準を反映するものであり、地域の生活水準を上げるためには識字率の向上は必須です。

乏水・飢餓・貧困からの一時的な救済ではなく、恒久的な問題解決のためには識字率の向上は不可欠です。

我々がWCSプロジェクトを計画する時、識字率向上に関するプロジェクトは、その地域の長期的な発展に最も必要なものの一つである事は確かです。限られた資金を如何に使うか、現地RCとよく相談し、長期的視野に立った検討をする必要があります。

我が国が明治維新を経ていち早く先進国の仲間入りが出来たのも、それまでの寺子屋などによる素地があったとはいえ、明治政府の行った教育制度の徹底による識字率の高水準と外国人宣教師などによる女性の教育が大きな役割を果たしたといわれています。母親が教養を身につければ、必ず子供に伝わります。

今や世界は狭くなり、人口増加、環境破壊、国際紛争、核武装など人類の直面する問題は地球規模で考えなければならない様相を呈しています。低い識字率はその国の問題だけでは済まないの

です。日本開国当時、心ある外国人が日本社会の生活水準向上のため、教育に誠意を注いでくれました。我々はそのような外国人を今でも尊敬しています。ロータリー綱領IV項：ロータリーの世界的親交を通して、発展途上国の識字率向上に誠意を示すことは、日本国の道義を高め、ロータリーのイメージアップにつながると信じています。

1993年、ローターアクト（RA）の創立25周年を記念して、3月13日を含む週を「世界RA週間」に指定しました。

RACを提唱している各RCには必ずRA委員会が設けられています。又、提唱RCとRACはお互いに四半期に一度は特別プログラムに招待し合うことが推奨されています。お互いの交流によって若さや知識、経験、価値観などを分かち合うためであり、若者に良き社会人として育てて貰うためであり、ロータリーの価値観を抱いて何年か後にロータリアンとなる若者はロータリーの未来であります。

今期、第2660地区では初めて関西大学にRACが吹田江坂RCの提唱によって結成されました。創立に尽力下さいました各位に深く感謝します。歴史ある有名な大学にできたRACです。12月12日のRI認証伝達式は、吹田市長、関大の理事長、学長などの大学関係者や多数の地区役員出席のもと盛大に行われ、新しく国際RACの一員に加わりました。夫々のRAC例会への参加を通して、ご支援をよろしく願います。